

広島県

【設問1】

貴道府県における医師不足に関する課題、及びその課題に対する県としての取組みについてご記載ください。

本県は平成18年に「医師・歯科医師・薬剤師調査」において、全国で唯一医師数が減少しました。以降の調査においても、20歳・30歳代の医師数が減少している傾向にあります。また、診療科や地域の偏在も課題です。本県においては、平成23年7月から「(財)広島県地域保健医療推進機構」を設立し、医師の配置調整や医師確保、人材育成等に総合的かつ機動的に取り組んでいます。(取組みの詳細は別紙1のとおり)

【設問2】

設問1で記載された取組みについて、地域医療支援センターが関与し、これまで取り組んできた事業内容をご記載ください。(ポンチ絵等、参考資料を添付願います。)

※24年度から実施の5県においては、独自に取り組まれた内容があれば記載願います。

【設問1】の課題に対し、20歳・30歳代の若手医師を確保するために、「広島県医師育成奨学金」の貸与を行い、将来の地域医療を担う医師を育成するとともに、前述の機構において、「医師派遣・支援」、「人材育成・研修」、「医師の定着促進」及び「情報収集・情報発信」について、事業を展開しています。(事業の詳細は別紙2のとおり)

【設問3】

設問2で記載された事業における実績について、できる限り定量的にご記載ください。(あっせん等を行った医師数、作成したキャリアプログラムの数や内容など)

○県内へ就業した県外からの医師数：6名（ふるさとドクターネットへの登録医師数は221名）

○キャリア支援プログラムの内容：

広島大学と県内の基幹病院の関係者からなる「プログラム策定運営委員会」等にて作成された小児科医と産婦人科医に係るキャリア支援プログラムの運営支援（8名参加）

【設問4】

貴道府県の地域医療センターにおける、現時点での問題点（課題）があれば、ご記載ください。

- 県内医療機関への医師の就業促進
 - 女性医師の就業やベテラン医師による地域医療への支援の仕組みづくり
 - 情報発信の充実
- などが現時点の課題です。

【設問5】

今年度以降、地域医療支援センターにおいて、どのような事業を実施される予定かご記載ください。

昨年度と同様に、「医師派遣・支援」、「人材育成・研修」、「医師の定着促進」及び「情報収集・情報発信」を実施し、各事業を更に拡充させるとともに、関係者からのヒヤリング等により新たな事業展開を模索しつつ、総合的かつ機動的に取り組んで参ります。

～以上～

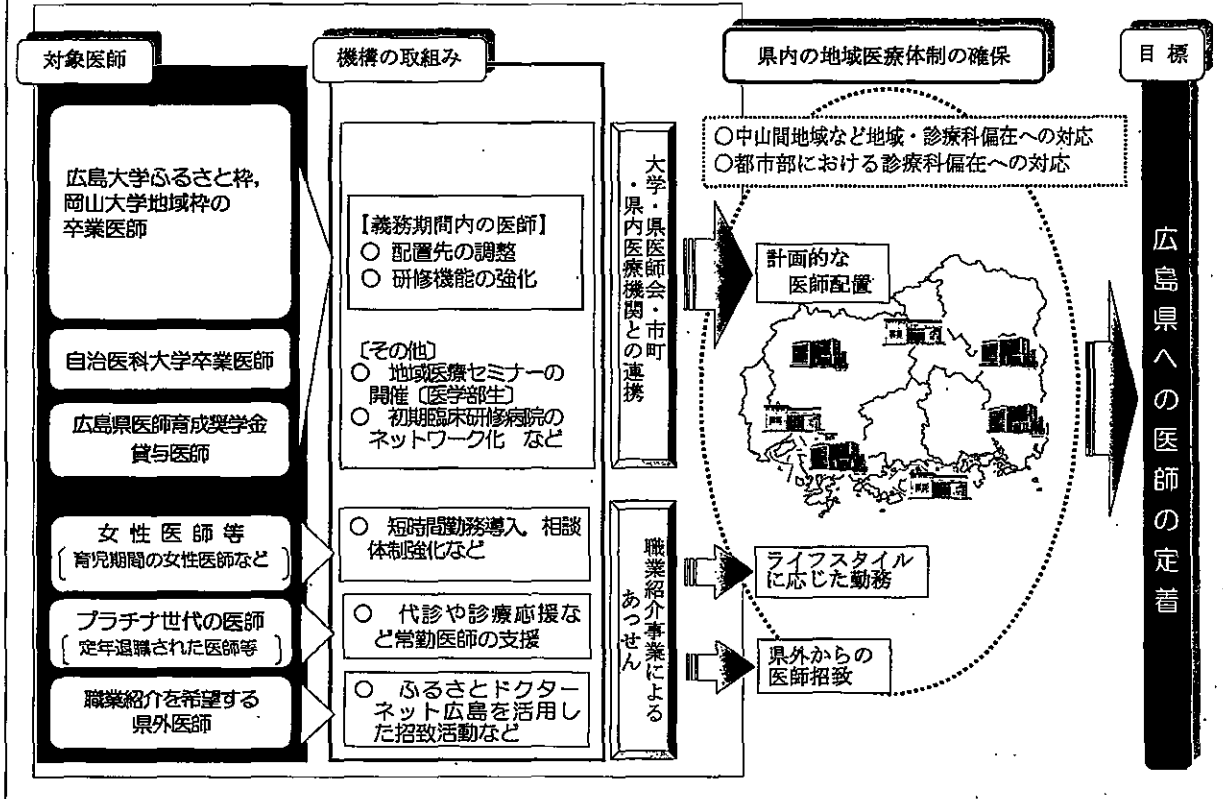
医師不足問題対応への考え方と施策

基本方針	対 策	広島県的主要施策・対応	推進機構の主要施策・対応
<p>I 医師の絶対数確保</p> <p>① 不足地域への医師の派遣</p> <p>② 県外医師の県内での就業促進</p> <p>③ 医師養成数の増大(定着支援)</p>	<p>不足地域への医師の派遣</p> <p>不足地域・診療科への医師の招へい</p> <p>県外医師の県内での就業促進</p> <p>医師養成数の増大(定着支援)</p>	<p>・自治医科大学での医師養成 ・プライマリ・ケア医養成</p> <p>・分娩・新生児・救急勤務医手当への支援 ・女性医師等就労環境整備事業</p> <p>・広島大学「ふるさと枠」 ・岡山大学「広島県地域枠」 ・広島大学医学部寄附講座の設置 ・広島県医師育成奨学金</p>	<p>・自治医科大学卒業医師等の配置調整 ・広島県へき地医療支援機構の事務局機能</p> <p>・女性医師の育児期間等への対応等、離職防止 ・プラチナ世代の医師等を地域医療に向ける仕組みづくり</p> <p>・求職者・求人者間のあっせん業務 ・県外医師の県内招致や県内外の医師のリクルート支援 ・ふるさとドクターネット広島の運営</p> <p>・臨床研修病院の支援 ・基幹病院等複数の医療機関の連携による研修システムの開発、実施支援 ・地域医療セミナーの実施</p>
<p>II 地域医療体制の維持・確保</p>	<p>新たな医師確保対策システムの構築</p> <p>地域住民の理解・協力の促進</p>	<p>・広島県地域保健医療推進機構の設立</p>	<p>・地域医療を考える市町、住民の取組への支援</p>

広島県地域保健医療推進機構の事業内容

<p>I. 医師派遣・支援機能</p> <p>① キャリアパス・キャリアデザインの構築</p> <p>② 医師配置調整</p> <p>③ 求職者・求人者間のあっせん</p> <p>④ 県外医師の県内招致や県内外の医師のリクルート支援</p> <p>II. 人材育成・研修機能</p> <p>⑤ 地域医療セミナーの実施</p> <p>⑥ 初期臨床研修病院の支援</p> <p>⑦ 複数の医療機関の連携による研修システムの開発、実施支援</p> <p>⑧ 新人看護職員研修のサポート</p> <p>⑨ 地域における臨床と研究の橋渡し</p>	<p>III. 医師の定着促進機能</p> <p>・地域医療のサポート機能</p> <p>⑩ 女性医師の育児期間等への対応等、離職防止</p> <p>⑪ プラチナ世代の医師等を地域医療に向ける仕組みづくり</p> <p>⑫ 地域医療を考える市町・住民の取組への県等と連携した支援</p> <p>⑬ 広島県へき地医療支援機構の事務局機能</p> <p>IV. 情報収集・情報発信機能</p> <p>⑭ 情報収集</p> <p>⑮ 情報発信</p>
--	--

広島県地域保健医療推進機構における医師の確保定着に関する全体像



広島県の医師確保・定着促進

(~18歳)	卒業年数	0-2年目	3-15年目	16年目-	およそ35年目-
高校等	大学医学部 (6年間)	初期臨床研修	若手~中堅医師 主に 義務年限	中堅・ベテラン医師、指導医	ベテラン医師 (プラチナ世代)
(地域)医療の普及・啓発	臨床研修病院合同説明会参加 (レジナビフェアin大阪)	臨床研修病院ガイドブック作成	プライマリ・ケア医養成事業	医師の配置調整	
	自治医科大学学生の育成 広島大学ふるさと枠 医学生学生の育成 岡山大学地域枠 医学生学生の育成 広島県医師育成奨学 金貸与医学生学生の育成 広島大学寄附講座	ふるさとドクターネット広島による医師招致活動	地域で行う医師の理解促進と定着促進支援	女性医師の離職防止支援等(相談窓口・就労環境整備支援制度)	プラチナ医師の活用 (事前登録等)
	地域医療セミナーの開催	広島県小児科 後期研修プログラム	産婦人科専門医 育成プログラム	広島がん専門医 育成研修プログラム	
		広島中山間地病院連携 地域医療研修プログラム	基幹病院等や大学病院の指導医等のグループが行 う、複数の医療機関の若手医師を対象とする 研修会等の活動支援	周産期母子医療センター 医師研究・研修支援	
			へき地医療拠点病院・へき地診療所支援 へき地医療支援機構を通じた支援		
情報発信(ふるさとドクターネット広島)					

□内の事業は(財)広島県地域保健医療推進機構で実施予定。それ以外の事業は、県や大学等で実施

自治医科大学卒業医師等の配置調整

これまでは、

- ・自治医科大学卒業医師等の配置は県が独自に決定



機構の設立により、新たに

- ・自治医科大学卒業医師等の配置基準の策定

(市町に意見照会後、県、市町、県医師会、大学、地域保健医療推進機構からなる会議で検討し、策定)

- ・市町から提出された配置に係る調査票に基づき、医療機関を点数化し、配置調整案を作成。県、市町、県医師会、大学、地域保健医療推進機構からなる会議で協議・案決定。

5

地域医療セミナー(夏季)

1 目的

地域医療に従事することを希望している医学生が、中山間地域等の医療現場を実際に体験・学習することにより、地域医療に対する理解を深める。

2 参加者

- ・自治医科大学在学中の医学生(広島県出身)
- ・広島大学医学部「ふるさと枠」医学生
- ・広島県から奨学金の貸与を受けた医学生 合計48人(今年度)

3 日時

平成23年8月17日(水)、18日(木)

4 内容

○セミナー対象者が3つの研修コースから希望するコース(後述)を選択し、コース内の医療機関(1か所)で、1泊2日の現地研修を実施。

○セミナー対象者4名程度を1班とし、計12班を編成。

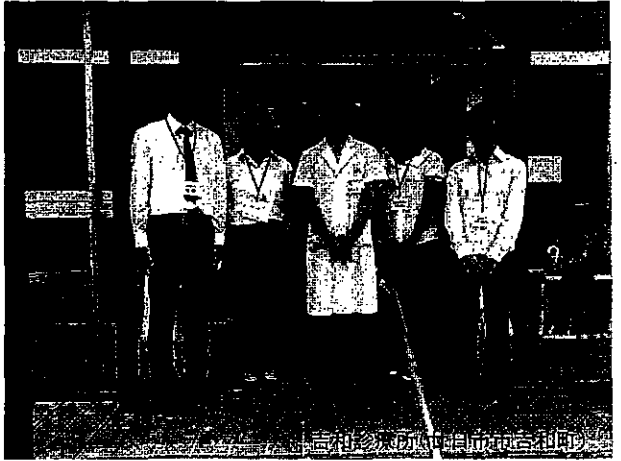
○現地研修終了後は、広島大学霞キャンパスにて 合同で報告会を開催。

6

平成23年度地域医療セミナー(夏季) の研修先医療機関一覧

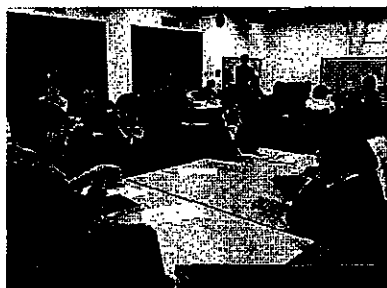
中山間地域での診療を学ぶ		島嶼部での診療を学ぶ		病院での診療を学ぶ	
医療機関名	所在	医療機関名	所在	医療機関名	所在
吉和診療所	廿日市市			広島総合病院	廿日市市
雄鹿原診療所	北広島町				
		越智医院	呉市		
		蒲刈診療所	呉市		
		円山医院	大崎上島町		
大和診療所	三原市			みつぎ総合病院	尾道市
				神石高原町立病院	神石高原町
甲奴診療所	三次市			庄原赤十字病院	庄原市
総領診療所	庄原市				

7



地域医療セミナー(冬季)

- 平成24年1月7日(土), 8日(日)に, 地域医療を志す医学生を対象に, 神石高原町立病院等において, 1泊2日の冬季セミナーを実施した。(広島大学医学部地域医療システム学講座共催)参加者:自治医科大学・広島大学医学部ふるさと枠医学生等40名



9

レジナビフェア2011in大阪

(臨床研修病院合同説明会)

今回初!

県内13病院と合同参加

- 日にち 平成23年7月3日(日) ■参加者(広島県ブース)医学生等170人(延べ347人)
- 場 所 インテックス大阪

■安佐市民病院 	■呉共済病院 	■広島市民病院
■県立広島病院 	■福山市市民病院 	■呉医療センター
■尾道総合病院 	■みつぎ総合病院 	■広島西医療センター
■広島大学病院 	■広島赤十字原爆病院 	■広島総合病院
■三次中央病院 	□広島県 	□(財)広島県地域保健医療推進機構

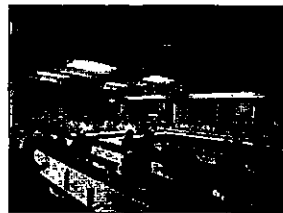
■「広島県医師臨床研修病院ガイドブック」などを作成し、配布を行いました。

若手医師等育成支援

- 目的:若手医師の資質向上及びキャリア形成のため、基幹病院等や大学病院の指導医等のグループが行う、複数の医療機関の若手医師を対象とする研修会等の活動に対して支援する。
- 対象者:県内の複数の医療機関の若手医師を対象とした研究会等を開催するグループ。
(例:◆◆◆地域医療懇話会, ◆◆◆研修ネットワーク等)
- 対象事業:若手医師等の資質向上及びキャリア形成のために実施する、地域医療などの臨床や疫学などの研究及び研修会等の活動
- 申請のあった6団体に対して、助成金を交付。



広島症候学研究会(代表 横林賢一先生~広島大学病院総合内科・総合診療科)主催の第1回症候学5時間耐久レクチャーの様子



藝州北部ヘルスケアネットワーク(Ge-Net)(代表 土手慶五先生~安佐市民病院循環器内科)主催の第10回藝州北部ヘルスケアネットワーク講演会の様子

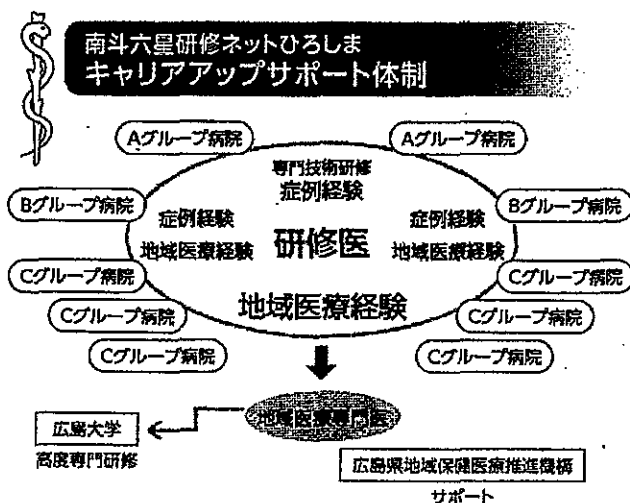


広島中山間地病院連携地域医療研修プログラム (南斗六星研修ネットひろしま)

- 本プログラムは「南斗六星研修ネットひろしま」を活用して、種々の地域のさまざまな医療環境の現場において広範囲の地域医療研修を行い、真に地域に貢献できる正真正銘のプライマリ・ケア専門医を養成するもの。
- 「南斗六星研修ネットひろしま」に参加する病院が一丸となって地域医療のキャリアアップをサポートする。

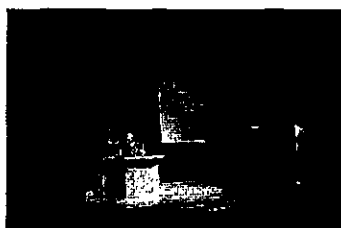
「南斗六星研修ネットひろしま」に参加している10病院をその規模や機能面をもとにA、B、Cの3グループに分け、原則的にはそれぞれのグループから1あるいは2施設を選択し、合計3から6施設をローテーションするもの。

Aグループ: 広島市立安佐市民病院, 市立三次中央病院
Bグループ: JA吉田総合病院, 庄原赤十字病院
Cグループ: 安芸太田病院, 三次地区医療センター,
庄原市立西城市民病院,
府中市立府中北市民病院, 公立邑智病院,
神石高原町立病院



地域医療を考える市町や住民の 取り組みに対する支援

- 目的: 地域医療や救急医療体制等について、地域住民の理解・協力を得るために実施する市町や住民グループ等の取組を支援することにより、地域医療の維持・確保を図る。
- 対象事業: 地域医療や救急医療体制等について地域住民の理解・協力を得るために実施する、医療に関するイベント、シンポジウム、講演会等(例: 講演会: 「みんなで考えよう地域医療」, 「◆◆市の地域医療を考える会」)
- 4団体(安芸太田病院, 庄原の地域医療を考える会, 尾道市, 神石高原町)からの申請を受理, 交付決定



第2回広島県西部中山間地域の医療を考える会
「みんなの力で地域医療を守ろう!!」
主催: 安芸太田町病院事業, 安芸太田町
開催日時: 平成23年12月4日(日)
開催場所: 戸河内ふれあいセンター
参加者: 安芸太田町の住民の皆さんなど約160名
特別講演: 「地域が守る医療」
足立智和氏(兵庫県丹波新聞社 編集部記者)

13

講演会の共催

• 中村伸一医師講演会

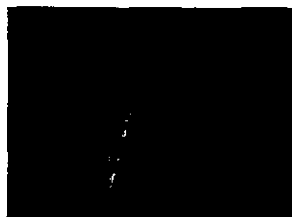
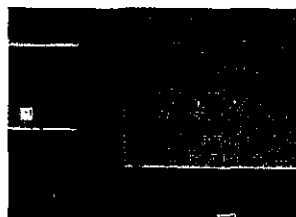
地域に“寄りそ医”20年 ～地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語～ (平成23年12月11日)

主催: 広島総合診療・地域医療懇話会

共催: 広島県、(財)広島県地域保健医療推進機構

参加者: 医療関係者および一般の方々, 約130名

福井県名田庄地区で20年間にわたり地域医療に携われてきた中村伸一先生をお招きし、講演会、懇話会を開催いたしました。先生が経験されてきた症例と地域性、時代背景を重ね合わせ、地域医療のあるべき姿について熱く語っていただきました。



14

「ふるさとドクターネット広島」のリニューアル

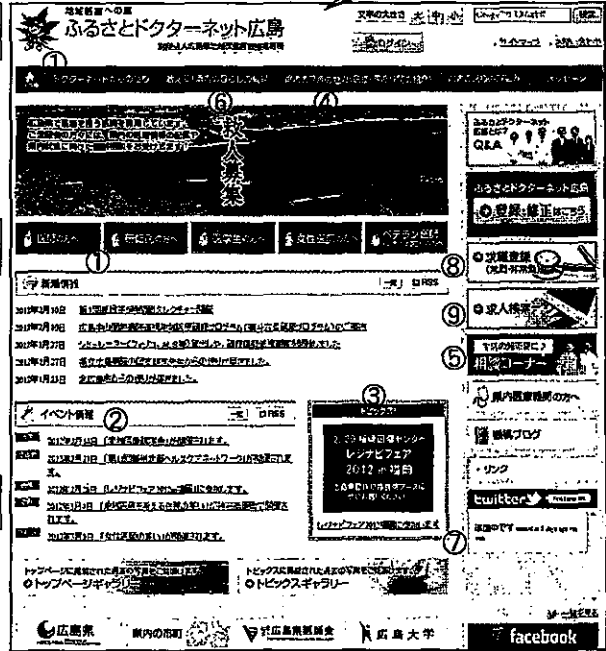
- 医師確保対策等の取組みを積極的かつ効果的に実施し、県内医療機関への就業に繋げるため、ホームページをリニューアルした。(平成24年2月10日)。※登録者数193名 H24.3.5現在



リニューアルの3つの視点, 9つの特徴

「リニューアル後のイメージ」
※○数字は特徴No.

- 1 デザインの刷新** ~見やすさと使いやすさの向上~
 - ① グローバルメニュー・対象者別メニューを設置
 - ② 医療関係のイベント情報を、トップページに一覧表示
 - ③ イチオシ情報をビジュアルに提供するため、トップページにトピックス枠を設置
- 2 掲載情報の魅力向上** ~広島県での就業に「共感・親しみ」を高める~
 - ④ 「生の声」を届けるため、医師インタビューを掲載
 - ⑤ 日頃の疑問の解決や意見の募集を図る相談コーナーの設置
 - ⑥ タウン情報誌(TJHiroshima)と連携し、市町の紹介記事等を掲載
 - ⑦ フェイスブックやツイッターを利用し、県内の医療情報を発信
- 3 職業紹介事業の展開** ~“県内就業”の狙いを大きくPR~
 - ⑧ 「職業紹介事業」をさらにPRするため、「求職登録」を設け、トップページに配置
 - ⑨ 医療機関の求人内容の項目の充実や検索項目を拡大



「広島県地域保健医療推進機構」設立後の地域医療推進部の主な取組内容

地域医療推進部では、広島県、市町、広島県医師会、広島大学等と連携し、県内の地域医療の確保に向けて、医師の地域偏在・診療科偏在解消のための医師の配置調整や医師確保、人材育成等に総合的に取り組んでいます。

1 医師派遣・支援業務

(1) 医師配置調整	<ul style="list-style-type: none"> ○自治医科大学卒業医師等の配置調整 <ul style="list-style-type: none"> ・配置の考え方を整理の上、市町から提出された調査票を点数化し、医師を配置する医療機関の案を作成。それを踏まえ、県において次の市町の13医療機関に医師を配置 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 三原市1, 尾道市4, 三次市2, 庄原市3, 廿日市市1, 安芸高田市2 安芸太田町1 北広島町1 世羅町1 神石高原町2 計18名 </div> ○大学院生による中山間地域診療支援奨励事業 <ul style="list-style-type: none"> ・広島大学大学院生である医師が中山間地域の公立・公的医療機関等で診療支援をした場合に奨励金を支給(24年3月は延べ310回分に対し支給)
(2) 求職者・求人者間の斡旋	<ul style="list-style-type: none"> ○有料職業紹介事業の許可取得(厚労省) ○県内全病院に病院概要や求人内容を照会し「ふるさとドクターネット広島」に掲載
(3) 県外医師の県内招致や県内外の医師の就業支援	<ul style="list-style-type: none"> ○「ふるさとドクターネット広島」HPの登録者の拡大 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> 24.3.31現在登録者数221人(うち23年度新規登録者数121人) (男性161人, 女性60人 / 医師88人, 研修医44人, 医学生89人) </div> ○同ネット登録医師への面談・県内医療機関見学の実施(延べ11件) ○医療情報誌等への求人広告等掲載 <ul style="list-style-type: none"> ・ゾゲンノート, デイカ朝日, 医学界新聞, 日経メディカルネット, 県内高校の同窓会誌等

2 人材育成・研修業務

(1) 地域医療セミナーの実施	<ul style="list-style-type: none"> ○広大ふるさと枠, 自治医大生, 奨学生を対象とした地域医療セミナーを実施 <ul style="list-style-type: none"> 夏季 23.8.17~18(県内12医療機関) 48名参加 冬季 24.1.7~8(神石高原町立病院他) 40名参加 																
(2) 臨床研修病院への支援	<ul style="list-style-type: none"> ○臨床研修病院合同説明会に県内主要病院と共同で参加し, PR活動を実施 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">月日</th> <th style="width: 40%;">説明会</th> <th style="width: 20%;">県内参加病院</th> <th style="width: 25%;">県ブース来場者</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>23.7.3</td> <td>レジナビフェア2011in大阪</td> <td>13病院</td> <td>170名</td> </tr> <tr> <td>24.2.26</td> <td>レジナビフェア2012in福岡</td> <td>12病院</td> <td>103名</td> </tr> <tr> <td>24.3.20</td> <td>e-レジフェア2012in大阪</td> <td>16病院</td> <td>128名</td> </tr> </tbody> </table>	月日	説明会	県内参加病院	県ブース来場者	23.7.3	レジナビフェア2011in大阪	13病院	170名	24.2.26	レジナビフェア2012in福岡	12病院	103名	24.3.20	e-レジフェア2012in大阪	16病院	128名
月日	説明会	県内参加病院	県ブース来場者														
23.7.3	レジナビフェア2011in大阪	13病院	170名														
24.2.26	レジナビフェア2012in福岡	12病院	103名														
24.3.20	e-レジフェア2012in大阪	16病院	128名														
(3) 複数医療機関による研修システムの開発, 支援等	<ul style="list-style-type: none"> ○基幹病院の連携による研修システムの作成・運営支援 <ul style="list-style-type: none"> ・産婦人科専門医育成プログラム ・広島中山間地病院連携地域医療研修プログラム(南斗六星研修ネットひろしま) ○若手医師等育成支援 <ul style="list-style-type: none"> ・基幹病院等や大学病院の指導医等のグループ6団体に助成 ○周産期母子医療センター医師研究・研修支援 <ul style="list-style-type: none"> ・総合周産期母子医療センター等の産科・小児科医の研究・研修費用を助成 																
(4) 新人看護職員研修のサポート業務	<ul style="list-style-type: none"> ○医療機関への医療・看護技術研修用シミュレーターの貸出(13病院等) ○アドバイザーの派遣(3件) 																

3 医師の定着促進・地域医療サポート業務

<p>(1) 女性医師の育児期間等への対応等、離職防止業務</p>	<p>○県医師会女性医師部会と連携し、女性医師相談窓口を開設 相談件数 33件 (23.4～24.2月)</p> <p>○女性医師の就業環境整備に向けた実態調査の実施等 県内の全病院に女性医師の就労環境に関するアンケート実施 (回答数 150病院)。</p> <p>○女性医師の就業環境整備に向けた補助事業に関する病院との調整 短時間正規雇用の導入促進等のための県補助制度等の活用を支援 (9 医療機関)</p>
<p>(2) プラチナ世代の医師等を地域医療に向ける仕組みづくり</p>	<p>○プラチナ世代の医師による診療支援システムの構築についてのアンケートを実施し、各市町に結果を送付 (300床以上の国・自治体・公的病院 (19病院) 対象。17病院から回答) →回答のあった医師 128人中、88人が「条件次第で協力可能」と回答</p>
<p>(3) 地域医療を考える市町や住民の取り組みに対する支援</p>	<p>○地域医療を考える市町や住民の取り組みを支援 ・安芸太田病院、庄原の地域医療を考える会、尾道市、神石高原町に助成</p> <p>○市町等が開催するセミナー等での機構職員による講演 ・24.3.4 神石高原町において機構医監が講演</p>
<p>(4) 広島県へき地医療支援機構の事務局業務</p>	<p>○広島県へき地医療支援機構運営委員会の開催 (第1回 23.10.28 第2回 24.2.23)</p>

4 情報収集・情報発信業務

<p>(1) 情報収集</p>	<p>○自治医科大学卒業医師配置先医療機関に対するヒアリングの実施 ○「平成22年医師・歯科医師・薬剤師調査」結果の分析 (医師関連)</p>
<p>(2) 情報発信</p>	<p>○「ふるさとドクターネット広島」HPのリニューアル (24.2.10) ○中村伸一医師講演会の広島大学との共催 ・演題「地域に“寄りそ医”20年 ～地域住民と診療所医師の強くて温かい絆の物語～」 (23.12.11 広島市で開催、128名受講)</p>